

原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2013年12月 | トップ | 2014年02月 》

検索

2014年01月28日(火)

原発再稼働反対の要望書を和歌山県知事に提出

アーカイブ

「脱原発わかやま」では、和歌山県知事に下記の要望書を提出しました。伝えられる関西電力大飯・高浜原発の再稼働に向けた規制委員会審査、および事故時における30キロ圏内住民の避難に関して、未解決の課題や重大な疑義があること、そのため関西広域連合に加盟するわが県としても、再稼働反対の意思表示をしていただきたい、というものです。これまでも何度も、和歌山県へ要望書を提出したり、話し合いの場を設けたりしてきました。容易に成果が得られるものでもありませんが、少しでも私たち県民の声が届くことを願って、これからも働きかけていきます。

……以下、要望書……

2014年1月27日

和歌山県知事 仁坂吉伸 殿

脱原発わかやま 代表 冷水喜久夫
事務局・田辺市あけぼの42-40 寺井拓也方
電話・FAX 0739-25-5586

再稼働反対と原子力災害時の避難に関する
要望書

原子力規制委員会は、現在、再稼働に向けた審査を加速させていて、新聞報道によれば、早ければこの春には、最初の認可を出す見通しであると伝えられています。しかし、大飯原発や高浜原発には、重要免震棟やフィルター付ペント設備などの安全上重要な施設がまだに整っていません。さらに、現在進められている原子力規制委員会の審査内容に大きな問題点が、次のように明らかになってきています。

まず地震動評価について、地震動の評価と津波の評価とは、二重基準が適用されているという矛盾が出てきています。両者は同一の波源でありながら別々の算定式(入倉式と武村式)を用いているため、津波評価(武村式)を地震動評価に適用すると、4.7倍も大きくなります。このような場合には、安全側の基準を用いることは、福島第一原発の重大事故の教訓であり、また原発という危険かつ重要な施設の安全審査にあたっては鉄則であるはずで、そうであれば、地震動評価にも武村式を適用すべきであります。それにもかかわらず、地震動の評価を危険側である入倉式を採用して審査をしている現在の審査には重大な疑問が生じます。

この問題は、昨年12月18日の審査会合において、規制庁の地震・津波安全対策担当の小林安全規制管理官から指摘されたものですが、これを無視することがあってはなりません。従って、現在行っている審査は原発の安全性を担保できると言えないのであり、原発の再稼働を認めることは許されません。

さらに、事故時における避難について、避難経路や輸送手段の確保、道路の渋滞、スクリーニング、障害者等要援護者の避難など、さまざまな課題が浮かび上がっています。現状では、若狭の原発から30キロ圏内の約40万人の住民の安全な避難が保証されているとはいえません。

以上のように再稼働にはいくつもの重大な問題がありますので、若狭湾の原発群を有する関西広域連合に加盟する和歌山県として、現段階における再稼働にぜひ反対の意思表示をして下さい。また、和歌山県の避難者の受け入れ計画については、一例として昨年10月、田辺市と京都府綾部市とが覚書を締結していますが、それらを含めて具体的に明らかにして下さい。

以上

2014-01-28 | 記事へ | コメント(0)

2014年01月14日(火)

原発について新成人にたずねました

＜20歳になられたみなさんへ＞

成人おめでとうございます。
12日、晴れ着姿でにぎわう成人式会場、和歌山ビッグホエール(もちろん館

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

外)で、シールアンケートを実施させていただきました。主催は、市民団体の「平和と憲法を守りたい市民の声」。
今の若者は、憲法9条や原発についてどう考えているのだろうか？これからの社会を担っていくあなた方の行く末が明るく、よりよい方向へ開けていくことを願って、毎年続けていて今回で10回目と恒例になっています。



今年のアンケート項目は、「憲法9条を知っている・知らない」、知っている人は「憲法9条はある・いない」、および「原発はある・いない」だけ。回答数をカラーシールでボードに貼っていくもの。今年の和歌山市新成人のちょうど1割にあたる、360人余りから回答をいただきました。

結果は-----

憲法9条を	知っている	237名 (64. 2%)
	知らない	132名 (35. 8%)
憲法9条を知っている人のうち		
	9条はある	216名 (91. 1%)
	9条は知らない	13名 (5. 5%)
	判らない	8名 (3. 4%)
原発について	いる	110名 (31. 1%)
	いない	210名 (59. 3%)
	判らない	34名 (9. 6%)

これによると、「原発は知らない」が6割近くを占めています。でも一昨年、昨年と徐々に漸減しているのが少し気がかりです。また昨年秋に「子どもたちの未来と被ばくを考える会」が和歌山市民を対象に行った同趣旨の調査と比較しても(ブログ12月13日号)10ポイント以上低くなっています。
福島原発事故から3年近くになり、「風化」が浸食しているのでしょうか。今日の佳き日を着飾って迎えた新成人には、いかにも遠い出来事ということでしょうか。

調査しながら若い人と話すのは、なかなか興味深いものでした。
「原発はやっぱり必要」「なんで?」「電気がないと生活できないから」「いま電気がなくて困っている?いま原発は全部止まっているよね」「えっ、ウソ?!」「電気が足りてるなら原発いらんのかな」
原発が稼働しなくても現行のままやっていける、と単純にはいわないけど、電気がないと生活できないから原発は必要、という図式を単純に刷り込まれてはほしくないものです。

「核のごみ処理が大問題だよな?」については**「僕らの子どもたちが何とかしてくれることを期待している」**…これにはじえじえでしたけど、考えてみれば無理もない。われわれ親(祖父母)世代が同じこと思ってるんだもの。本当のところは、あなたたちに期待してはいけない(出来ない)し、あなたたちも子どもに期待してもいけないのに。
時間があればもっと話し合いたかったです。

会場周辺にあふれかえる華やかな晴れ着に一世代?のおめかし、出会いの歓声。記念撮影。
そんななかで場違いなグループが**9条、原発**などという話をたずねてくる、とひいてしまった新成人もいたかもしれません。でも、そんな人も含めて、このことへの引っ掛かりを、どこか頭の隅っこでも残しておいて貰いたいです。これから社会の主役として生きていくうえで、とても大事なことだと思うから。

穏やかな好天に恵まれ、新成人のみなさんも、調査に駆け回る私たちも、よかったです。

(sora)

- 2012年09月 (2)
- 2012年08月 (2)
- 2012年07月 (4)
- 2012年06月 (4)
- 2012年05月 (3)
- 2012年04月 (1)
- 2012年03月 (1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)
- そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
- コメントありがとう by sora (12/05)
- 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
- 10/26と11/29のチケット by 角谷(10/23)
- starさんコメントあり by sora (09/14)
- このブログを読むまで by star(09/13)
- こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
- 現在稼働している大飯 by star(04/09)
- 廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

カレンダー

< 2014年01月 >

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13 琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

2014-01-14 | 記事へ | コメント(0)

原発がこわい女たちの会
ニュース98号発行(07/04)

2014年01月08日(水)

SCHEDULER

学習交流会のお知らせ

ナビゲーション

あけましておめでとうございます
新年がよい年になりますように念じていますトップ
RSS

ID:

PASS:

サイト管理者 ▼

[ログイン](#)

SSLモードでログイン

1月25日(土)ビッグ愛にて、
「子どもたちの未来と被ばくを考える会」
<http://kodomomiraikibou2012.seesaa.net/>
主催による学習交流会が、開催されます。
福島原発事故に心を痛めておられる方、よくわからないのもう少し知りたいなと思われる方、参加してみませんか。
ゲストとして、元京大原子炉実験所の海老澤徹(えびさわ とおる)さんが参加されます。

↓ 海老澤さんからのコメントです

汚染水の問題は、事故初期より深刻な問題であり、一貫して調査してきました。

しかし、東電は、現在問題になっている環境への放射能漏洩の実態をずっと隠してきた経緯があります。

今や隠せないし、東電だけではどうしようもない事態になって、公表するようになったということです。

食品汚染の問題に付いても、事故初期とは状況が大きく異なってきたので、最近のデータを準備しておきます。

最近の福島事故の現状等についても基礎的データは準備します。

BLOGariは2017年1月末
サービス終了します

↓ 「子どもたちの未来と被ばくを考える会」のチラシです

子どもたちの未来を考える
第1回
ゲストを交えた交流会

福島原発の事故からもうすぐ3年。
最近、あまり報道されなくなりましたが、漏れた放射能はどこへ？
今ももれ続けている汚染水は？食品の放射能汚染はどこまで進んでいるの？
専門家をお招きし、お話を聞き、質問しながら、
福島の今とこれから、そして私たちが今、考えなくてはいけないことは何か？
気さくにおしゃべりする学習交流会を開催します。
ぜひ、お気軽にご参加ください。

日時：2014年1月25日 13:30~16:00
会場：ビッグ愛9F会議室B (和歌山市手平2丁目1-2)
ゲスト：海老澤徹氏 (元京都大学原子炉実験所助教授)
参加費：無料

小さいお子さん連れも歓迎です。

主催：子どもたちの未来と被ばくを考える会
事務所：和歌山市三番町6番地 関西電ビル4階
金原法律事務所内
問合せ：電話番号：073-451-5960 (松浦)
HPアドレス：<http://kodomomiraikibou2012.seesaa.net/>

2014-01-08 | 記事へ | コメント(0)

RSS 2.0